

第2回 福山市都市マスタープラン検討委員会 議事要旨

1 日 時

2025 年(令和 7 年)3 月 19 日(水)18 時 30 分

2 場 所

福山市役所本庁舎 3 階 中会議室

3 出席者(委員)

広島大学	教授	田中 貴宏
呉工業高等専門学校	教授	神田 佑亮 (オンライン出席)
福山市農業委員会	職務代理	岡本 卓也
福山商工会議所	専務理事	小林 仁志
福山市自治会連合会	常任理事	大畠 功之
社会福祉法人福山市社会福祉協議会	常任理事兼 事務局長	小野 裕之 (代理)
社団法人広島県宅地建物取引業協会福山支部	福山支部長	浅利 清
市民委員		田村 晃宏
市民委員		土居 稔弘
市民委員		森山 恵
国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	副所長	小田 嘉幸
広島県東部建設事務所	次長	新家 治
福山市建設局	局長	市川 清登

4 議事一覧

- (1) 第1回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り
- (2) 都市づくりの視点と課題
- (3) 都市づくりの基本理念と基本目標
- (4) その他

5 議事の概要

(1) 第1回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

- ・第1回福山市都市マスタープラン検討委員会における各委員からの意見と事務局の回答について振り返りを行った。

【委員からの主な意見】

- ・意見無し

(2) 次期福山市都市マスタープラン策定に向けた全体の流れ

- ・次期福山市都市マスタープラン策定に向けた全体の流れと本検討委員会で議論する範囲について確認した。

(3) 都市づくりの視点と課題

- ・都市計画運用指針や備後圏域都市マスタープラン、福山みらい創造ビジョンに記載される課題を踏まえ、本市における問題点・都市づくりの視点及び課題について確認した。

【委員からの主な意見】

- ・人口推移の値が他の計画と異なる。最新のデータであることは理解しているが、他の計画と人口推移の値を統一した方が望ましい。
- ・良質な外国人労働者を受け入れることが、産業の活性化には必要である。就業訓練にとどまらず、地域社会の一員として外国人を受け入れるためのビザ発行が求められる。ユニバーサルデザインの視点は外国人を含めた表現にしていきたい。
- ・駐車場から中心街へ向かうまでの歩道についても検討いただきたい。市役所前の歩道は全く整備されていないため、デザインを調整しながら、駐車場から各拠点までの歩道について、誰もが移動しやすい環境を整備してほしい。
- ・渋滞対策や交通整理が重要であるという意見が多い。本市は車での移動が主であるため、渋滞解消は利便性の向上に直結する。インフラ整備を最優先に進めてもらいたい。
- ・市街地のコンパクト化と高密度化に向けて、必要性が低い道路の整備も見受けられるため、都市計画の中で一定の方向性を示す必要がある。
- ・都市計画を通じて道路整備を適切にコントロールすることが重要である。

- ・渋滞により通勤時間が長くなっている。道路整備によって就業環境や住環境の向上が期待できる。さらに、公共交通の利便性が高まれば、高齢者の移動も容易になると考える。
- ・また、渋滞対策として南北方向の道路整備を求める声がある。区画整理を行い、幅員の広い道路にするべきという意見もある。総論賛成・各論反対という状況かもしれないが、一つの意見としてお伝えしたい。
- ・本市には大学が多いため、空家を学生向けに安価な家賃で貸し出したり、障がい者向けに安く提供することも一考である。特に学生については、卒業後も市内で就職してもらうことで地域の活性化につながる。
- ・学校のプールは老朽化が進んでいるうえ、屋外プールは夏の暑さの影響で水泳の授業が困難な状況である。今後、施設の統合に伴い、共有のプールを整備することを検討してはどうか。公共施設を単に減らすのではなく、適正な規模と配置を考慮していただきたい。
- ・本市は合併によって形成された自治体であるため、地域ごとに特性が異なり、地域別の課題と市全体の課題が必ずしも一致しない場合がある。福山市全体の課題だけでなく、地域ごとの課題についても解像度を上げて整理されたい。また、本市の人口減少は避けられないが、本市は備後圏における核となる都市であるため、周辺市を含めた本市の位置づけについても整理されたい。
- ・計画のアウトラインを明確にしたうえで課題を整理することが望ましい。
- ・具体的な施策とスケジュールを示すことが望ましい。大きな視点で計画を提示し、具体的にどのように進めるか、その際の障害は何か、スケジュールはいつまでに達成できるかを議論する必要がある。
- ・具体的な施策を示して、大きな方針と行き来しながら計画の熟度を上げることも必要。
- ・地球温暖化は抑制に加え、適応の視点も盛り込んで欲しい。

(4) 都市づくりの基本理念と基本目標

- ・現行計画及び上位関連計画を踏まえ、次期福山市都市マスタープランにおける基本理念と都市づくりの基本目標について確認した。

【委員からの主な意見】

- ・他市の基本理念と似ており、本市の特性が見えにくい。市民が協力したいと思う福山らしい基本理念となることが望ましい。
- ・基本理念に福山市らしさが感じられないといえそうだが、記載できる内容は限られているため、地域別構想における拠点の在り方について検討した後、そこで福山市らしさが表現できればよい。
- ・基本理念には安心安全のほかに「利便性」のキーワードも追加いただきたい。
- ・地域特性、コミュニティが物質的に感じないように、その地域を形成する特有の視点も含めて、地域特性を生かした基本理念の表現を工夫されたい。
- ・ミクロとマクロの視点を行き来しながら計画を策定していく必要がある。地域別構想もあるので、全体構想や基本理念に適宜フィードバックしながら進めていただきたい。
- ・課題の解像度とも関わるが、市が目指すべき方向性について十分に議論されたい。
- ・周辺市町との連携した都市づくりが必要。

(5) 次期都市マスタープランの改定のスケジュール

- ・今後の検討委員会の開催スケジュール及び各検討委員会における検討内容について確認した。

【委員からの主な意見】

- ・意見無し

以上